

運用管理要領

2020/07/21発行

管理対象業務	管理手順		逸脱した場合の影響
	実施事項・管理基準	監視・測定 関連記録	
1 電力の使用 (電源の取扱い)	<p>【照明】</p> <p>①昼休憩時、不要な照明は消灯する。 ②未使用室、トイレ等の照明は消灯する。 ③蛍光灯取替時は、LED照明に交換する。</p> <p>【空調】</p> <p>①梅雨期・夏期（6～9月）は26℃以上に設定。 ②冬季（11～3月）は24℃以下に設定する。 ③上記期間以外で、やむを得ず使用する場合は上記の設定温度範囲内とする。</p> <p>【OA機器】</p> <p>PCの省電力設定を行う。</p> <p>【退館時の確認】</p> <p>①各所照明の消灯確認を行う。 ②換気扇、エアコン等の停止確認を行う。</p> <p>【現場】</p> <p>①照明は必要な範囲内でのみONとする。 ②その他不要な電源を入れっ放しにしない。</p>	現場代理人は、作業中無駄な電力の使用がないか目視確認する。	化石燃料の枯渇
2 施工、設計の管理・計画 (高効率機器、 節水型器具等の環境配慮)	<p>①事務作業の省力化の提案 ②グリーン購入法対象品の提案 ③節水対策・節電対策等に係る提案 ④過剰設計がないか設計図の確認を行う。 ⑤エアコン等は高効率型の提案を行う。 ⑥VE提案(イニシャル、ランニング)を行う。</p>	提案者は、必要(官庁物件等)に応じて創意工夫等を報告する。	資源ロス 費用のムダ ランニングコスト増大
3 書類の保管場所・方法 紙の削減等 (業務全般) (完成書類・図面・事務書類・紙の使用)	<p>①図面の場合 図面データ(CAD, PDF)を現場毎に保存する。 ②提出書類 出来るだけ電子と紙にて提出する。</p>	完成図書及び図面は電子化して保存出来るようにし現場代理人に提出する。	保管場所の増大 紙の使用増 書類検索時間の増加
4 地域貢献・美化活動 (業務全般)	<p>③現場周辺の清掃活動(ゴミ拾い等)を行う。 ④除雪作業は降雪状況により決定する。 ⑤植栽・植林及びクリーンキャンペーン等 環境活動に対して支援活動を行う。</p>	現場代理人は活動状況を写真に撮影し記録する。 支援活動状況をまとめて記録する。 ※「打合せ簿」等使用	森林資源の枯渇 現場周辺の汚れ・イメージダウン 除雪しないと通行出来なくなる
5 廃棄物の排出 (産業廃棄物 一般廃棄物)	<p>【一般ゴミ】 事業所内のゴミは、所在地自治体の規定に基づき分別する。</p> <p>【産業廃棄物】</p> <p>①所定の保管場所に保管し、担当者は契約した業者へ運搬、処分を委託する。 ②搬出時は manifests を発行し、運搬・処分の完了を確認しA票確認欄に押印する。</p> <p>【現場】 現場代理人は、上記事業所の場合に準じて現場での産業廃棄物の保管及び排出を管理し、E票確認後に事業所の事務部門に提出。</p>	事務担当者は manifests (A標)の確認欄に日付及びサインが記入されているか確認する。 ※産業廃棄物管理票交付等状況報告書 現場代理人は安全パトロールの際に保管・排出状況を確認する。	処分場の負荷増 飛散・流出による環境汚染 法違反による刑事・行政処分

運用管理要領

2020/07/21発行

管理対象業務	管理手順		逸脱した場合の影響
	実施事項・管理基準	監視・測定 関連記録	
6 燃料の使用 (車輛による移動) (車輛による資材の搬入出) (建設機械等の使用)	【車輛】 ①不要なアイドリングはしない。 ②移動の際は効率的なルート(距離・時間)を選択する。 ③急なアクセル操作は控える。 ④不要な積載をしない。 【現場での管理】 …発電機、重機 ①不要なアイドリングはしない。(かけっぱなしで離れない) ②機器は必ず使用前点検する。	現場代理人は、日常巡回時に確認しKY活動時等の場で指示する。	燃料の浪費 騒音苦情
7 燃料の使用 (事務作業) (空調・衛生設備)	①冬季(11~4月)は室温を24℃以下に設定する。 ②不要時のOFF設定をこまめに行う。 ③機器のメンテナンスをシーズンイン時に行う。		化石燃料の枯渇
8 シンナーの使用	塗装面積(量)を確認し、無駄な使用をしない。	現場代理人は、作業の注意事項として周知する。 ※「KYシート」	化石燃料の枯渇 土壌・水質汚濁
9 塗装材の使用	塗装面積(量)を確認し、無駄な使用をしない。	現場代理人は、作業の注意事項として周知する。 ※「KYシート」	化石燃料の枯渇 土壌・水質汚濁
10 騒音の発生	①予想される場合、工事着手前に近隣に説明を行い、協力を求める。 ②低騒音型機械等を使用し、使用機械の点検整備を十分に行う。 又、アイドリングストップを心掛ける。 ③工事中は細心の注意を払い、作業時間も考慮する。	現場代理人は、近隣からの苦情があれば記録する。 ※「情報データベース」使用	クレームにつながる騒音の発生
11 振動の発生	①予想される場合、工事着手前に近隣に説明を行い、協力を求める。 ②無振動型機械等を使用し、使用機械の点検整備を十分に行う。 又、アイドリングストップを心掛ける。 ③工事中は細心の注意を払い、作業時間も考慮する。	現場代理人は、近隣からの苦情があれば記録する。 ※「情報データベース」使用	クレームにつながる振動の発生
13 フロンガスの取扱い	①漏洩防止を心がける。 ②作業手順に従い作業を行う。(メーカー取扱説明書)	現場代理人は、手順どおり守られているか常時目視確認する。 ※「充填量記録表」、 「回収フロン破壊証明書」	地球温暖化